資料1-2

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業実施結果報告（令和6年度事業）

交付対象事業の名称	糸島市「地域人材活躍・地域活性化」事業
事業総額	13,019,300円

本事業における重要業績評価指標（KPI）	担当課	R6年度 目標値	R6年度 実績値	R5年度 実績値	単位	達成度
①20～64歳の転入出者数	企画秘書課	400	567	397	人	達成
②法人市民税決算額	商工振興課	4.24	4.61	4.22	億円	達成
③創業件数（商工会支援件数、累計）	商工振興課	97	148	82	件	達成
④就職支援サイト「きっとみつかる　糸島しごとさがし」の登録企業数	商工振興課	150	170	138	社	達成

【1.経営強化専門家活用事業：商工振興課】

関連するKPI	①、②

事業概要

（事業目的）
新型コロナウイルス感染症や急激な物価高騰の影響による厳しい経営環境を乗り越えていくためには、経営基盤の強化や事業拡大が必要であるが、中小企業では、更なる成長を希望していても、ノウハウやマンパワー不足によりなかなかチャレンジできない状況にあるため、プロフェッショナル人材を活用して経営課題を解決することを目的とする。

（事業内容）
市内企業のチャレンジや経営課題解決のためにプロフェッショナル人材を活用するのにかかる経費を補助するとともに、プロフェッショナル人材との効果的なマッチング及び人材採用後の課題解決に向けた伴走支援を行う。同時に、市内企業が副業プロフェッショナル人材を自ら採用し活用できるよう育成する。また、1年目は、糸島市商工会の職員向けのセミナーを開催するなど、糸島市商工会職員と連携して、企業に対し本事業の利用促進を図る。
〇経営強化専門家活用事業
・補助対象者：市内で商工業を営む中小企業者
・補助対象事業：
（1）プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決
（2）プロフェッショナル人材を活用した事業継続力強化計画の策定
・補助対象経費
（1）プロフェッショナル人材との仲介費用
（2）プロフェッショナル人材への委託費
・補助率：補助対象経費の2／3以内（千円未満切り捨て）
・補助上限額：100千円

〇副業人材を活用した伴走支援事業
企業とプロフェッショナル人材のマッチング支援、及び人材採用後の伴走支援、商工会や企業向けセミナー開催に係る経費（委託料）

事業実績

（1）プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決　　0件
（2）プロフェッショナル人材を活用した事業継続力強化計画の策定　　0件

〇副業人材を活用した伴走支援事業　支援事業者選定数：10社
1. 株式会社熊本精研工業（生産性向上）
2. 山下商店（BtoCに繋がるイベント作り）
3. セトル株式会社（業務の効率化）
4. 合同会社Simclear（海外販路拡大）
5. 一般社団法人ママトコラボ（デジタルコンテンツを取り扱う社内体制構築）
6. 株式会社いとしのいとしま（ワインの販売戦略策定）
7. 株式会社やました（新たな経営の方向性）
8. TANNNAL（中長期の経営計画）
9. わかまつ農園（新たな販路展開の道筋）
10. 株式会社イトキュー（運送業界の人材確保）

事業の評価

（成果）
副業人材を活用した伴走支援事業では、市内10事業者に対して経営課題に応じた専門的支援を実施した。業務効率化や販路拡大、経営戦略の見直し、人材確保など多様な成果が見られた。副業人材の知見により、企業の成長に向けた具体的な変化が生まれ、地域経済の活性化に一定の効果があったものと考える。

（課題）
プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決及び事業継続力強化計画の策定の補助実績は0件であった。事業継続力強化計画の策定について、中小企業が多く、必要性を感じていない事業者や計画策定まで余力がないことが考えられる。また、制度が新しく十分に制度や事例の周知されておらず、事業者に情報が届いていない実情がある。事例発表は行っているが、参加者が限られているため、全体周知を引き続き実施していく必要がある。今後は副業人材を活用した伴走支援事業の成果を活用し、制度周知と意識啓発をさらに進める必要がある。

実績値を踏まえた事業の今後について

プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決及び事業継続力強化計画の策定の補助について、商工会と連携した説明会や具体的な事例紹介の場の充実、周知手段の見直し等を実施する。併せて、サプライチェーンリスクへの備えとして事業継続力強化計画の重要性そのものについても、事業者への丁寧な意識啓発を進めていく必要がある。
副業人材を活用した伴走支援事業では10社において一定の成果が得られており、今後も新たな事業者への展開と成功事例の共有を通じて、プロフェッショナル人材の活用促進につなげていく。

【2.大学生等インターンシップ事業：学研都市づくり課】

関連するKPI	①、②、③、④

事業概要

（事業目的）
大学生等の本市への就職と本市への定住・定着の促進、企業等が求める人材を採用する機会の増加、求人募集に繋がる自社の魅力再認識、業務効率化など新たな気付きの機会、「大学生を応援するまち」というPR効果と税収の増加を目的とする。

（事業内容）
民間委託を行い、受託業者は大学生等及び企業等をそれぞれ募集し、各ニーズを把握した上でマッチングする。受託業者はコーディネーターを配置し、大学生等及び企業等の相談や双方の調整を行い、インターンの効果が上がるよう、プログラムの作成や面談の実施等を行う。コーディネーターは、大学生等に対して糸島で働くこと・暮らすことの魅力を伝え、企業等への就職や企業等が委託契約できる関係性づくりを支援する。
・対象者：市内の企業等でインターンを希望する専門学校生・大学生・大学院生・市内に所在する高校の学生及び市内在住の高校生等、並びに市内で事業を営む事業者
※マッチング等に係る経費（委託料）

事業実績

〇マッチング
企業:4社
学生:5人
マッチング:4件

〇プログラム一覧
・糸島発アウトドアメーカーの製品開発
・フィンランドデザイン×医療機器の新たなイノベーション
・ノーコード開発ツールkintoneを活用した業務改善
・たまご販売の市場調査
・中高生講座のSNSマーケティング

〇成果報告会
参加した学生及び受け入れ先の事業者の報告会　令和7年2月19日

事業の評価

（成果）
受け入れた企業から「実際に成果が出た」と高く評価され、満足の声があった。また、来年度も事業を継続して実施してほしい、という企業もあった。大学生等の本市への就職や定住・定着の促進、企業側が求める人材の採用機会の創出、求人募集につながる自社の魅力再認識、業務効率化や新たな気づきの機会提供、大学生を応援するまちとして糸島市のPR効果を高めることに一定の効果があったものと考える。

（課題）
・ホームページを中心に募集を行ったが、企業側への周知効果が十分ではなく、受け入れ企業を集めることが難しかった。
・1大学のみの学生の参加となったため、他大学の学生や高校生も広く呼び込む必要がある。

実績値を踏まえた事業の今後について

最適なマッチングを実現するため、企業と学生が直接意見交換できる合同説明会を開催し、相互のニーズを把握したうえでインターンを開始できる仕組みを整える。また、令和6年度はHP等を中心に募集を行ったが、企業側への周知効果が十分ではなかった。募集時の周知強化のため、前年度の参加企業や学生のインタビューを掲載したパンフレットを作成し、企業の関心を高める工夫を行う。さらに、参加学生の成果発表会を実施し、事業の成果を企業や市に報告するとともに、新たな参加希望者に対するPRの場として活用する。加えて、市外企業と競争する状況を踏まえ、企業の魅力を強く発信する求人票を作成し、SNSとの連携を図ることで、より多くの学生に糸島でのインターンを選択してもらう環境を整備する。また、過去に参加した企業や学生との関係を維持し、経験者が新規参加者を支援できるコミュニティを形成することで事業の発展を促し、そのコミュニティを基盤として令和8年度からは受注者による自走を予定している。

【3.起業家人材育成支援事業：学研都市づくり課】

関連するKPI	①、②、③

事業概要

（事業目的）
市内企業や市民等の交流機会及び社員教育の場を提供するとともに、市内で新たな価値やビジョンを創造できる人材及びイノベーションの担い手になる人材を育成することを目的とする。

（事業内容）
民間事業者が市内で行う、チャレンジ精神・起業家精神を持った人材を育成するための研修事業（アントレプレナーシップ研修）の事業費を補助する。
・プログラム受講対象者：国内外のビジネスパーソン、九州大学の教職員・学生、糸島市民・市内事業者など
・補助対象者：人材育成プログラムの提供を希望する事業者等
・補助対象経費：講師謝金、交通費、当プログラム専用の備品、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、広告宣伝費、会場借上料、委託料、その他市長が必要と認める経費
・補助率：1／2
・補助上限額：1,000千円×3事業＝3,000千円
・学生・市民上乗せ：限度額300千円×3事業＝900千円

事業実績

研修：2件

〇地方創生+Career Workshop
日程　1回目：R6.9.28、2回目：R6.9.29、3回目：R6.10.26
参加人数　16人
内容　参加者が自身のキャリアを振り返り、SVI構想について学び、多様な年齢層との交流を通じて、今後のキャリアや人生におけるヒントを得ることを目的とする研修

〇SVIまちづくり学校2024
日程　1回目：R6.10.13、2回目：R6.10.20、3回目：R6.11.4、4回目：R6.11.17
参加人数　115人（リモート参加含む）
内容　SVI実現のためには生成AIを活用し急速な変化にも柔軟に対応できる、常に進化し続ける「生きた都市」の構築が必要であるという考えから、地域全体でまちづくりに参画できる体制を構築するために「生成AIネイティブ人材」の育成を目指す研修

事業の評価

（成果）
(1) 地域資源の活用と人材の集客について
両研修とも、糸島市の地域資源（SVI構想、自然環境、地域コミュニティなど）を研修内容に組み込み、市内外から多様な人材を集めることに成功した。
(2) 交流機会の創出
研修を通じて、九州大学の学生や教職員、糸島市民、ビジネスパーソン間の交流が促進された。
特に、地方創生+Career Workshopでは、異業種・異世代間の参加者が互いの価値観に触れ、刺激し合う場が提供された。
(3) 糸島への愛着醸成
研修の一環として、SVIまちづくり学校2024では研修参加者が生成AIで作成した「理想の糸島像」が糸島新聞の見開きに掲載される等糸島の魅力に触れる機会が設けらた。
参加者の糸島への愛着を育むとともに、地域課題への関心を高める効果があったと言える。
(4) 知識・意識の実装
参加者は研修を通して生成AIをまちづくりや日常生活に活用する方法を習得したり、自身のキャリアを見直すことが行動変容につながったりするなどして、知識や意識が地域社会への実装につながる可能性が示された。
(5) リーダーの育成
SVIまちづくり学校2024では、プログラムを通してSVIに関心を持つようになり主体的にまちづくりに関わりたいと申し出てくれた九州大学の学生や、プログラム期間中に画像生成をはじめとする生成AIの活用方法を習得し、研修最終日には講師まで務めるようになった受講生が生まれた。
地方創生+Career Workshopでは、「SVIによる糸島発・多元分散型の自然共生社会モデル」と題したアウトプット資料をまとめた受講者が生まれた。
また、プログラム終了後も意見交換ができる場（LINE オープンチャット）を設けたり、第2回糸島市100人カイギ（民間有志が行うイベント）では研修主催者と研修受講者2人が登壇者として話したりするなど、研修の場限りではない継続した活動が行われている。
これらのことから、地域課題の解決や新たな事業創出を目指すリーダー候補となる人材の育成につながったと言える。

（課題）
本補助金は3団体への補助を想定していたものの、実際の応募件数は2団体にとどまった。
検討段階で応募に至らなかった1団体からは、補助対象経費が限定的であり使い勝手が悪かったという意見が寄せられた。
申請を思いとどまる要因として申請手続きや実績報告などの手間や時間があったと考えられる。

実績値を踏まえた事業の今後について

本事業により行った2つの研修について、参加者の満足度も高く、今年度市内におけるアントレプレナー育成の土壌を形成し、機運を高めることができた。
糸島市には、糸島サイエンス・ヴィレッジをはじめとする地域資源や魅力的な環境があり、これらの要素を活かした研修コンテンツは、今後も多様な人材を惹きつける可能性を秘めている。
これらのことから、次年度以降は市の補助金なしで民間にて独立して事業を行うことが可能であると考え、事業化はしない。
なお、糸島市は、起業家人材育成のための環境整備や情報発信に注力する等、民間事業者の自主的な活動を支援する役割にシフトし、「糸島市九州大学国際村構想」や「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」等の長期的なまちづくりを通して民間主導でチャレンジ精神・起業家精神を持った人材を育成するための環境を整える役割を担うべきであると考える。

【4.地域連携経済活性化補助事業：商工振興課】

関連するKPI	①、②

事業概要

（事業目的）
　市内企業と地域の連携・交流活動を支援することで、市内企業の認知度向上やこれによる新たなビジネスチャンスと雇用の創出、お互いのSOSを出し合える関係性構築、企業の地域貢献意識の醸成につなげる。

（事業内容）
　地域経済の活性化を目的に、市内の商工業者が地域と連携して取り組むイベント開催などに係る経費を補助する。
　・補助対象者：市内の商工業者が加盟している団体（構成員が5事業者以上）
　・補助対象経費：事業に直接要する経費（報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃貸料など）
　・補助率：2／3
　・補助上限額：参加事業者数に応じて上限を設定。予算の限り、先着順。1団体につき1回限り。
　　（1）上限1,000千円（参加事業者数5～10）
　　（2）上限2,000千円（参加事業者数11～20）
　　（3）上限3,000千円（参加事業者数21以上）

事業実績

令和6年度糸島市地域連携にぎわい創出事業補助金
　・事業数：9事業
　・利用者数：計126事業者
　・総交付額：7,485千円（令和6年度予算額：20,000千円）

交付団体	参加事業者数（うち重複数、商工業者以外）	交付額
1.糸島Negiフェス事務局	6（0、0）	¥1,000,000
2.糸島センベロ実行委員会	33(0、0)	¥1,664,000
3.熱風祭	7(0、2)	¥187,000
4.福吉産業まつり実行委員会	27(1、15)	¥1,207,000
5.OTOCAMP実行委員会	11(1、0)	¥667,000
6.糸島旨いもの広場実行委員会	15(5、0)	¥977,000
7.いちょう祭り実行委員会	7(1、0)	¥139,000
8.糸島グルメ大感謝祭実行委員会	26(6、0)	¥1,308,000
9.伊都の杜ウィンターフェスタ	13(5、0)	¥336,000

事業の評価

（成果）
　新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等の影響で落ち込んだ市内経済も、回復の兆しを見せている中、さらなるにぎわいを創り、地域を盛り上げていくため、補助対象を商工業者に限らず、地域の農業者や漁業者、サークルなども参加可能とし、補助金の名称を「地域連携にぎわい創出事業補助金」に変更した。令和6年度は市内126事業者が補助金を活用し、9事業が実施された。補助率、参加事業者の対象、補助金の名称を変えながらは実施してきた本事業は、事業者自らが働く場や地域活動の場を創出し、市内での消費喚起を促すことで、地域経済の活性化に一定の効果があったものと考える。

（課題）
　糸島市商工会が小学校区単位での地区編成を行ったことに伴い、100万円×（15地区+その他団体5）の申請を見込んでいたが、目標には届かなかった。糸島市商工会を通じ、各地区や内部組織等への周知を強化し、活用を促す必要がある。

実績値を踏まえた事業の今後について

　引き続き市内企業と地域の連携・交流活動を支援を行い、地域経済活性化の取組を推進する。

【5.就職支援サイトの機能強化事業：商工振興課】

関連するKPI	①、②、④

事業概要

（事業目的）
就職支援サイトの機能を強化することで、求人情報の登録数とサイトの利用者数を増やし、市内事業者の人材確保への支援を強化する。

（事業内容）
絞込検索や並び替えの機能、就業体験（インターンシップ）やスポット雇用の項目を追加するために就職支援サイトの改修を行う。
※サイト改修経費（委託料）

①セキュリテイ強化…SSL化（httpをhttpsに）
②機能追加…絞込検索と並び替えの機能を追加
③項目追加…就業体験とスポット雇用の項目を追加

事業実績

サイトの改修を実施
①セキュリテイ強化
SSL化は、当ページの親サーバである糸島市公式ホームページが実施したため、SSL化を当事業で実施する必要がなくなった。令和7年度には、より強固なSSL認証を受け、強固なセキュリティを構築する予定。
②機能追加
・求職者の目に留まりやすくするため、掲載した求人情報新着4件を、サイトトップページに羅列して表示することができた。
・求人情報を検索する際「しごと内容」や「雇用形態」等をチェックし、絞り込んだ状態で検索が可能となった。また、並べ替え機能も新たに搭載した。
・トップページにPICKUP情報コーナーを創設。市管理のHPで、事業者・求職者に関連する情報を、当サイトに掲載し誘導できるようになった。
③項目追加
・新たにインターンシップを募集している企業の情報掲載ができるようになった。スポット雇用に関しては、㈱タイミーとの連携により掲載優先度が下がったため、搭載を見送った。
・その他、企業が情報入力する際に勤務時間や条件等自由記入欄を減らし、セレクトボックス等を活用することで、入力ハードルが下がった。

登録企業数
170件(増加:−件) ※令和6年度末に改修が完了したため、当事業における登録企業の増は把握できていない。
・企業の特長や代表者メッセージ、社員が会社を紹介できるページ等を設けた。
・賃金等の高い順に掲載求人を並び替えることができるようになったことに加え、絞り込み検索機能も充実した。

事業の評価

（成果）
糸島での職場環境や働くイメージが沸きやすい作りにしたことに加え、求職者にとって希望の求人を探しやすく改修した。これにより、求人情報の登録数とサイトの利用者数の増加及び市内事業者の人材確保への支援強化につながった。

（課題）
企業数は増加しているものの、求人掲載件数が大きく変動していない。当サイト周知に加え、企業登録をしているものの、一定期間求人情報を掲載していない、いわゆる「休眠企業」へのアプローチが必要。
活用する中で、サイト改修に伴う細かなバグ等が発生した場合、直ちに対応できるようなアフターフォロー等が無い。

実績値を踏まえた事業の今後について

事業者への個別アプローチ及び企業情報の発信により、本サイトの利用促進を図っていく。

【6.学生アイデア社会実装補助事業：学研都市づくり課】

関連するKPI	①、③

事業概要

（事業目的）
　連携協定を締結している九州大学、中村学園大学・中村学園大学短期大学部、西南学院大学、福岡医療専門学校、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の学生による柔軟な発想を、地域や行政の課題解決に生かし、未来を担う企業の創出や、学生が地域に関わることによる地域活性化、学生がチャレンジできる環境の整備や「大学生を応援するまち」というPR効果を目的とする。

（事業内容）
　本市が抱える地域課題や行政課題等を研究する、協定大学等の学生に対し、市が研究費用を補助する。
・補助対象者：市と連携協定を締結している大学等の学生
・補助対象経費：報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、原材料費、その他市長が必要と認める経費
・補助率：補助対象経費の10／10
・補助上限額：500千円

事業実績

採択数：3件（申請：7件）

〇研究テーマ
　・磯焼け対策としてのウニトラップ
　・菌糸による新たな建築材料の開発
　・糸島農業高校における食の拠点づくりへの提言

〇研究成果報告会
　日時：令和7年2月23日
　参加者数：26人

事業の評価

（成果）
　採択2件の想定に対して7件の申請があり、どの申請も地域課題の解決及び地域資源の掘り起こしが期待できるものであったが、そのうち優れた3件を採択した。本市をフィールドに学生が地域と関わりながら研究を行ったことで、地域の活性化や学生のチャレンジを促進することができた。将来的に企業の創出につながる可能性がある。

（課題）
　学生の新たなチャレンジへの支援であるため、研究成果の実装に時間を要する。

実績値を踏まえた事業の今後について

令和6年度は、想定を上回る学生等のニーズを確認するとともに、いずれの研究も地域課題解決や地域資源の活用への可能性が期待できる成果であった。令和7年度は、より多くの学生等にチャレンジしてもらうため、当該事業の採択件数を増加する。

糸島市「地域人材活躍・地域活性化」事業

事業の評価	**有効であった**
今後の方針	**継続**